

進捗状況 (JAEA, 5月～6月)

- 新しく購入したカソードウェハ(epi ready)を装着してNEA表面作成
 - 量子効率が期待したほど良くならない(下図参照)
- 150 kV でのビーム引き出しに成功(6月20日)
 - 2.4 mWのHeNeレーザを使用、ファラデーカップ電流 $\sim 1 \mu\text{A}$
 - 高圧電源の負荷電流を見ると、これより大きなビーム電流が取れている可能性も見える。
 - 欠けたカソード片が真空槽に落ちており、250 kV まで上げると放電する。
- トランスファーロッドのたわみのため、カソード電極を所定の位置(中心)から外れた位置に設置しており、ビームの通りが悪い。
 - カソードの外周付近にレーザを当てた時のみファラデーカップにビームが届く
 - ソレノイドを動作させて、ビームの通りを良くすることを試みる
 - ロッドのたわみを考慮して、装置の改良を検討
- バンチ長計測用の偏向空洞の組み立てを完了し、ハイパワーテストを実施中
- 下流のビーム診断系、ビームダンプ設置のための図面作成
- 500 kV セラミック管の電位計算(武藤、本田)

6月20日の NEA 表面作成 →

